

令和元年度第2回川口市廃棄物対策審議会議事録

令和元年度第2回川口市廃棄物対策審議会	
1 開 会	
2 挨 拶	
部長挨拶	
議事録署名人選任 新関道夫委員が指名される。	
議題（1）第6次川口市一般廃棄物処理基本計画の施策の実施状況について	
事務局	議題（1）第6次川口市一般廃棄物処理基本計画の施策の実施状況に入る前に、前回の審議会において、井出委員から生ごみ処理容器の購入補助件数の質問があったので、この場において説明する。平成28年度34基、平成29年度55基、平成30年度90基である。
事務局から、議題（1）について資料に基づき説明。	
委員	現行の第6次川口市一般廃棄物処理基本計画は読みやすい作りになっている。現行計画の50ページのように目標や結果、評価などを見やすい形でまとめていただきたい。
事務局	見やすい形にできるように検討する。
委員	資料1の3ページの図表6の平成15年度の数値は誤りではないか。
事務局	確認のうえ、誤りがあれば修正する。
委員	資料2の2ページの取り組み（8）家庭ごみの有料化検討の結果はどのようなものか。
事務局	現在のところ、家庭ごみの有料化の実施は考えていない。
委員	資料2の1ページの取り組み（4）の生ごみの水切りについてである。市民はあまり市のHPを閲覧することなく、ホームページやプレス530での周知だけでは難しいであろう。人口約60万、約28万世帯で、生ごみ処理機の補助利用者が90世帯は少ない。 また、12月の環境フォーラムではフードドライブを実施する予定であるのか。

事務局	実施の方向で検討している。
事務局	生ごみ処理機の補助は、引き続き機会をとらえて周知に努める。
議題（２）食品ロスの実態調査結果について	
事務局および受託事業所から、資料に基づき説明。	
委員	川口市の食品ロス推計量の１７，０００ｔから私が算出すると、市民１人１日当たり７７ｇになるが、それでよいか。
事務局（受託事業者）	そのとおりである。今回は速報であるため、次回の審議会の確報で詳細はお伝えする。
委員	全国平均は１３９ｇと認識しているが、川口市は７７ｇということは、全国平均の半分くらいなのか。
事務局（受託事業者）	全国平均の１３９ｇには事業系食品ロスも含まれる数値であり、川口市の７７ｇは家庭系のみでの数値である。
委員	市民に啓発する場合は、１７０００ｔの総量を言ってもと伝わりにくく、自治体によって人口も違うため、１人１日あたりの数値で示した方がよい。また、１人１日あたり“ミニトマト１個分”などのわかりやすい例を用いるべきである。
事務局	そのような啓発を検討していく。
委員	私は川口市民環境会議に所属しており、その時の啓発として、食品ロスは、１人１日あたりお茶碗１杯分と言っているが、どうか。
事務局（受託事業者）	国等ではお茶碗１杯分と言っているのは、事業系食品ロスも含まれている数値である。
議題（３）市民及び事業者アンケートの速報について	
事務局および受託事業者から、資料に基づき説明。	
委員	今回は速報であるが、次回の第３回審議会で確報の予定と思うが、確報には、自由記述も紹介いただきたい。
事務局	次回に自由記述についても報告する。
委員	私は町会で衛生委員、クリーン推進員をしているが、毎日ごみについての苦情が寄せられる。ステーションについて、問題がないとの回

	答が40%とは到底考えられない。私が住んでいる地域では、外国人や駅まで行く人の中に不法投棄している人がいる。地域やステーションによっては、不法投棄や収集日以外のごみ排出などが見られる。また、ステーションの清掃も大変なものである。アンケートの送付先はステーションの問題のない地域にしているのではないか。
事務局	年齢と地区で無作為抽出を行った。また、日々のクリーン推進員の活動に感謝申し上げる。
議長	地域別に集計すれば、回答に違いがあるのではないか。
事務局（受託事業者）	今回は速報のため、地域別の集計は行っていないが、今後地域別の集計を行う。
委員	各地域で実情は違うのであろう。ごみの捨て方が分からない外国人にはどのように説明しているのか。
事務局	日本語のほか8か国語でごみの出し方のパンフレットを作成したり、HPに掲載したりして周知している。パンフレットは、常時配布できるように用意している。
委員	ごみの捨て方を聞いていない、わからない、と言って捨てやすいところに捨ててしまっている外国人もいる。市として何か対策をとっていただきたい。
委員	資料4-2の問1で、66%がごみについて関心がある、との回答であったことに勇気づけられる。7ページの間4（2）で家庭ごみの有料化について、41%が肯定的な意見である。環境部内での検討状況はどうか。有料化については、市民も意識しており、メリットもあるのでもう少し積極的に検討する時期に来ているのではないか。
事務局	現時点では実施の方針はない。今後、コストなどを含めて調査研究を進めて行く。
委員	家庭ごみの分別や減量は進められているが、公民館など事業で出された黄色いごみ袋には何でも入っている。事業系ごみの減量についてはどのような対策を実施しているのか。
事務局	事業系ごみについては、許可業者による回収・分別を行っている。
委員	離れたところから自転車でごみを捨てにくる人もおり、ごみを捨てる人が特定できない状況である。外国人に紛れて日本人でもごみ捨てのマナーが悪い人もいる。また、地域によっては資源の持ち去りも多

	い。有料化の前に、ごみの捨て方のマナーやルールの徹底が必要ではないか。
議長	事務局は、十分に検討いただきたい。
議題（４）ごみ処理基本計画骨子案について	
事務局から、資料に基づき説明。	
委員	２の基本的課題の（１）ごみを取り巻く社会情勢については、国・県・市の計画、ＳＤＧｓやその他のアクションプランなどとの関係がわかるような工夫をしていただきたい。
委員	骨子案の作成に当たっては、各町会・自治会やマンションコミュニティ連絡協議会など現場の意見を直に聞いていただきたい。実態を踏まえた計画とし、ごみ減量の取り組みに参加し、継続してもらうことが重要である。
事務局（受託事業者）	国の法令等については、概要をまとめた資料を作成する。ＳＤＧｓについては、資料８を参照いただきたい。
議長	次期計画には、地元の意見を拾い上げていただきたい。
委員	１人１日あたりのごみ排出量はすでに目標を達成しているが、さらに高い目標を設定するのか。
事務局	目標については、今回の計画において検討していく。
委員	八王子市や松山市は８００ｇを下回っているので、もう少し高い目標を設定していただきたい。
委員	私は市の委託を受けている川口市地球温暖化防止活動推進センターでお手伝いをしているが、そこで、町会などに、出前勉強会をすすめていきたいと思っているが、担当課でもＰＲしてくれるのか。
事務局	環境総務課としてもＰＲに努めていきたい。
委員	市の委託を受けた組織での広報には限界があるので、市にも協力いただきたい。
議題（５）基本方針の検討について	
事務局から、資料に基づき説明。	

委員	現行計画で3つある基本方針を2つにするのか。
事務局	その通りである。
委員	“豊かな環境”が何を示すのかわかりにくい。基本理念に“未来につなぐ”とあるので“未来につなぐ環境”の方がよいのではないか
事務局（受託事業者）	“豊かな環境”とは環境基本計画の基本理念を参考に、“都市と自然が調和した環境”のことを示している。
議長	事務局、委員の双方検討のうえ、次回決定する。
委員	孫が学校からもらった食品ロスのプリントを壁に貼っていた。食品ロスの削減やごみの分別などは外国人の子どもを含めて子どもに対する教育が重要である。教育委員会とも連携すべきではないか。
議長	教育委員会には、その旨伝えておく。
委員	教育委員会との連携は賛成である。基本計画のその他の施策には、教育や啓発をもっと強く入れていただきたい。
議題（6）その他	
事務局から、資料に基づき次回以降の廃棄物対策審議会の日程の説明。	
委員	意見なし。
委員	現在、千葉県は台風の影響で大変な状況であるが、川口市は千葉市に何か支援をしているのか。
事務局	保健師の派遣をしている。まだ正式に決まっていないが、全国都市清掃会議を通じ館山市において、災害廃棄物の処理の要請が来ている。決まり次第プレスリリースする。
議長	みなさまから貴重な意見を賜りましてありがとうございました。それでは、以上で本日の議事は全て終了いたしました。円滑な議事進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。
事務局	ありがとうございました。以上をもちまして令和元年度第2回川口市廃棄物対策審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。
閉会 (11:30)	